

各事業の報告

1 食べ残しゼロ推進店舗認定制度の推進

本来食べられるはずの食品が、店舗や家庭で捨てられることなく、すべて食べられる「食べ残しゼロ」を目指して、様々な工夫や努力を行っている事業者を本市が認定し、その取組を広く発信するとともに、市民にも「食べ残しゼロ」への理解を呼び掛けることで、市民・事業者と本市が一体となって食品ロス削減の実践の輪の拡大を図っている。

今年度も、10月の「食品ロス削減月間」の創設を契機として、市内店舗への働き掛けを強化したことにより、食品小売店においても認定取得が大きく進むなど、取組の拡大を図った。

また、認定店舗（飲食店・宿泊施設）のうち、食べ残しの持ち帰りが可能な店舗に対し、本年1月に、持ち帰りが可能であることをPRするステッカーの掲示を要請し、市民への周知・啓発を図った。

- | | |
|-------------|------------------------|
| ・ 飲食店・宿泊施設版 | ： 922 店舗（30 年 12 月末時点） |
| ・ 食品小売店版 | ： 206 店舗（30 年 12 月末時点） |



2 紙ごみ削減推進事業

紙ごみの分別に徹底した指導を行う指導員4名を新たに配置し、マンションを5棟以上管理する管理会社上位140社をすべて訪問し、コミュニティ回収制度の利用等による古紙回収の促進や分別・リサイクルの啓発を実施してきた。

さらに、管理会社から得た古紙回収未実施マンション情報を基に、古紙回収業者に対し、効率的な回収ルートが構築できるよう具体的な働き掛けを行った。

その結果、市内9,626棟のマンションのうち、古紙回収を実施しているマンション数は今年度当初3,524棟（実施率37%）から1,328棟増加し、4,852棟（実施率50%）まで高まった。＜31年2月末時点＞

3 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」（p 3（広報資料））

修学旅行で本市に宿泊する学校を対象に、

- ①歯ブラシの持参
- ②エコバッグを携帯し、レジ袋や紙袋を辞退
- ③食事はできるだけ食べきり

の3つの取組を実践していただく学校を募集し、エコバッグを配布している。

（平成28年度から実施）

平成30年度は、231校の学校に御参加いただき、3つの取組を実践していただいたことに加え、学校独自の取組でエコな活動を実践する「エコアクション+1」には、昨年度を大きく上回る64校もの学校から、修学旅行中のごみ分別や清掃活動（観光地でのごみ拾い等）、事前学習を通じた2Rの実践といった取組内容での応募があり、このうち、7校を優秀校に選定し、表彰した。

【平成30年度参加実績】

参加校の属性	参加校数 (カッコ内は昨年度)	エコ・アクション＋1 参加校 (カッコ内は昨年度)	エコバッグ配布枚数 (カッコ内は昨年度)
小学校	120校 (148校)	22校 (19校)	8,011枚 (9,905枚)
中学校	101校 (82校)	34校 (18校)	10,607枚 (9,753枚)
高等学校	9校 (3校)	4校 (1校)	1,552枚 (408枚)
特別支援学校	1校 (0校)	0校 (0校)	23枚 (0校)
計	231校 (233校)	64校 (38校)	20,193枚 (20,066枚)

4 大学生・ごみ減量サポーター表彰式について (p8 (広報資料))

7大学、26名の大学生がSNS（Instagram及びTwitter）を活用し、自らが実践した日常生活における2Rや分別の取組内容を広く発信する「大学生・ごみ減量サポーター事業」を平成30年7月から実施し、大学ごとに編成したチームが投稿に対する「いいね！」の数を競う中で、若年層のごみ減量行動の実践の輪づくりを進めることができた。

学生サポーターが約9箇月間にわたる活動の満了を迎えるに当たり、3月22日に修了式及び表彰式を実施した（1位のチームには、使用済み小型家電から回収した「金」を用いた金メダルを贈呈）。

【投稿数及びいいね数！（7大学合計）】

投稿数 514
「いいね！」数 27,079

【参加大学、五十音順】

大谷大学、京都経済短期大学、京都産業大学、京都橘大学、
京都美術工芸大学、同志社大学、佛教大学

【実施内容】

7月 2日 任命式、活動開始（月5回程度投稿）
7月17日 オリエンテーション（第1回研修）
9月28日 使い切りクッキング（第2回研修）
1月29日 マイ箸づくりワークショップ（第3回研修）
3月22日 修了式及び表彰式



修学旅行中に学校単位で実践していただく
エコ活動「エコ・アクション+1」の
優秀賞が決まりました♪
ご応募ありがとうございました！

平成31年3月18日
京都市環境政策局
〔担当：循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
電話：213-4930

平成30年度 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」

「エコ・アクション+1」の優秀校を決定しました！

京都市では、2R※の取組を全国に発信し、観光関連のごみ減量につなげるため、修学旅行中に3つの取組（①歯ブラシ持参，②エコバッグの携帯，③食事の食べきり）を実践することを宣言して、本市を訪れる生徒の皆さんにエコバッグを提供する、環境にやさしい「京都エコ修学旅行」を実施しています。

更に、「エコ・アクション+1」として、上記3つの取組に加えて独自のエコな取組を実施していただいた学校を表彰しており、今年度は64校（小学校25校，中学校35校，高校4校）から、修学旅行中のごみ分別や清掃活動（観光地でのごみ拾い等），事前学習を通じた2Rの実践などの取組内容で応募いただきました。

この度、これらの中から優れた取組を実施された7校（小学校2校，中学校4校，高校1校）を優秀賞に選定しましたので、お知らせします。

※2R：必要以上にごみになるものを作らない・買わない「リデュース」と繰り返し使う「リユース」

記

1 優秀賞受賞校

優 秀 賞	小学校	愛知県知立市立 ^{さわたり} 猿渡小学校
		愛知県刈谷市立 ^{すみよし} 住吉小学校
	中学校	栃木県鹿沼市立 ^{あわの} 粟野中学校
		島根県奥出雲町立 ^{に た} 仁多中学校
		大分県大分市立 ^{わさだ ひがし} 植田東中学校
		大分県中津市立 ^{なかつ} 中津中学校
	高校	岩手県立 ^{おおの} 大野高等学校

2 表彰について

優秀賞受賞校には、表彰状（みやこ^{そまぎ}柚木木製銘板）と記念品（書籍2万円分）を贈呈します。

3 応募の状況等

(1) 募集期間（実施報告書の提出期間）

平成30年9月から平成31年1月まで

(2) 応募総数

64校（小学校25校，中学校35校，高校4校）

(3) 優秀賞受賞校の選定

修学旅行中の取組の内容に加え，どのようなエコな取組を実践するかを考える過程や情報発信に生徒・児童の主体的な関わりが見られる7校を選定しました。

（参考）平成30年度の環境にやさしい「京都エコ修学旅行」の応募状況

環境にやさしい「京都エコ修学旅行」は，231校（小学校120校，中学校101校，高校9校，支援学校1校）に御参加いただき，11月下旬にはエコバッグの提供が予定枚数（2万枚）に達する等，ご好評をいただいております。

【優秀賞受賞校（7校）の取組内容の概要】

学校名	愛知県知立市立猿渡小学校	参加生徒数	73名
取組内容	- 過去のプラスチックごみに関する環境教育を活かした「MY箸・MYスプーン」の取組の実践 - スローガン作成による食事の際の2Rの取組の徹底		

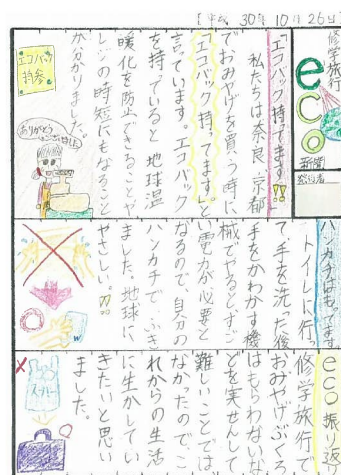


MY箸・MYスプーンを使用して食事する様子

学校名	愛知県刈谷市立住吉小学校	参加生徒数	106名
取組内容	- 出発式での「エコ宣言」の実施による意識の高揚 - お土産用の小分け袋の提供の辞退 - ハンカチ持参によるエータオル等の使用自粛，テレビ視聴時間の抑制，就寝前のお手洗いの徹底による節電 - 手洗い・歯磨きの際の節水の徹底 - ごみ袋の携帯，ごみ拾いの実施 - エコ新聞による全校児童への情報発信		



出発式のエコ宣言

エコバッグでのお買い物
(小分け袋の辞退)

旅行を振り返るエコ新聞

学校名	栃木県鹿沼市立栗野中学校	参加生徒数	64名
取組内容	・ 清掃用のマイ雑巾の持参による宿泊先の清掃実施 ・ 歯磨き用マイコップの持参による節水、消灯時間の前倒しによる節電の実施 ・ ペットボトルキャップの持ち帰り ・ 空き容器の分別など、宿泊先、新幹線等での後片付けに配慮した取組の実施 ・ 文化祭での修学旅行中の取組の情報発信（ステージ発表、掲示物の展示）		
	 		
	後片付けに配慮した分別等の工夫の実践 朝の奉仕活動、部屋の清掃		

学校名

島根県奥出雲町立仁多中学校

参加生徒数

51名

取組内容

・プラスチック製品が環境に与える影響についての事前学習の実施

・班単位で取り組む節電などの「環境アクションプラン」の実践、成果や課題などの各自レポート作成

・宿泊先でのシーツ交換なし、清掃なしへの協力



環境にやさしい取組をするという意味表示のマグネットを部屋の扉に掲示する様子

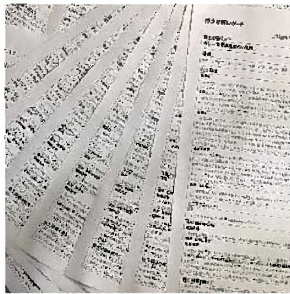
環境アクションプラン

アクションプラン	時間を決めてプラスチック製品を使う
実践記録	よくできた (○)、次でできな (△)、もう少し努力しよう (△)
成果や課題	冷蔵庫を暖めておいた。暖かい水を出さない。暖かい水を出さない。暖かい水を出さない。
改善策	暖かい水を出さない。暖かい水を出さない。暖かい水を出さない。

環境アクションプランの実施状況のレポート

学校名	大分県大分市立植田東中学校	参加生徒数	158名
取組内容	・ 修学旅行を意識し、出発旅行前からエコ活動を実施（出発日に向け、全員の意識を高めるため、事前の取組として段階的にレベルを上げながらエコ活動を実践） ・ マイボトルの持参 ・ 班別自主研修中の路上のごみ拾いの実施		

学校名	大分県中津市立中津中学校	参加生徒数	102名
取組内容 ・ 修学旅行前にエコ活動への意識を高める取組（エコバッグ贈呈式の開催，ダムの渇水問題を題材とした授業の実施による節水への意識付けなど）の実施 ・ 食べる前に，食べきれそうにない品を周りの人にあげる「おすそ分けタイム」の実施 ・ ペットボトルの使用を極力控える「マイボトル運動」の実施 ・ 就寝前にごみを種類ごとにまとめ，分別用のごみ箱に捨てる「分ければ資源，混ぜればごみタイム」の実施 ・ 洗面・歯磨き・シャワー等で，適時，水を止めて使用する「節水タイム」の実施		 マイボトル運動の実施  分ければ資源，混ぜればごみタイムの実施   おすそ分けタイムの実施で食べ残しゼロを達成	

学校名	岩手県立大野高等学校	参加生徒数	28名
取組内容 ・ 京都市のごみの分別等を学び，宿泊先等で正しくごみの分別ができるよう，修学旅行前の事前学習を実施 ・ 修学旅行を通じ，地域によって分別方法が違うことを実感し，卒業後に住む地域でも正しい分別ができるよう，意識付けを実施 ・ お土産用の小分け袋の提供の辞退 ・ 寺社仏閣等で取り組むエコ活動を調査し，自主研修レポートとして校内に掲示し，他学年の生徒及び保護者への情報発信		 事前学習の様子  作成したレポート  レポートの展示状況	

(お知らせ)

1位のチームには、リサイクル金
を使用した金メダルを贈呈



平成31年3月18日
京都市環境政策局
〔循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
TEL 213-4930

大学生・ごみ減量サポーター事業

学生サポーター修了式及び表彰式の開催について

京都市では、平成30年7月から若年層へのごみ減量に関する啓発事業として、「大学生・ごみ減量サポーター事業」を実施し、学生サポーターに任命された7大学・26名の大学生がSNS（インスタグラム、ツイッター）を活用し、自らが実践した日常生活における2R※や分別の取組内容を広く発信してまいりました。

約9箇月間にわたり、大学ごとに編成したチームが知恵を出し合い、創意工夫を凝らした記事を発信し、投稿に対する「いいね！」の数を競う中で、本事業の目的である若年層のごみ減量行動の実践の輪づくりが進んでいます。

この度、学生サポーターの皆さんが活動期間満了を迎えるに当たり、修了証を授与するとともに、「いいね！」の数を多く獲得した上位チームの表彰を行いますので、お知らせします。

なお、1位のチームには、（地独）京都市産業技術研究所の技術協力のもと、市民の皆様が排出された使用済み小型家電から回収した「金」を用いた金メダル（メダルリボンには木村染匠(株)の京友禅を使用）を贈呈します。

※2R：ごみになるものを作らない・買わない「リデュース」と繰り返し使う「リユース」

記

1 日 時・場 所

平成31年3月22日（金）午前11時～午前11時45分
京都市役所本庁舎3階 第一応接室

2 出席者

学生サポーターの皆さん、門川大作市長、山田哲士環境政策局長 ほか

3 次 第

- (1) 開式、事業の振り返り
- (2) 修了証授与
- (3) 上位3チームに表彰状授与
(1位のチームには併せて金メダルを授与します。)
- (4) 代表者から成果報告
- (5) 市長から感謝の言葉
- (6) 閉式（閉式後、記念撮影）

(参考)

1 学生サポーターのメンバー詳細（大学名は五十音順、敬称略）

大 学 名（チーム名）	氏 名
大谷大学 （山好きな者達）	田中 隼人，橋本 耕平，来田村 遼太郎
京都経済短期大学 けいたん （軽担じゃぱん）	川畑 里紗，東 舞弥，護得久 光，吉瀧 一翔， 宇水 彩乃
京都産業大学 まつたか （松高ゼミ）	安田 大河，加藤 栄三，中野 智貴， 嶋口 京祐，菅谷 圭祐
京都橘大学 えこ た ち （eco tachi）	伊藤 心，矢代 陸人，松川 倫也
京都美術工芸大学 （分別戦隊分けるんンジャー）	徳永 遥，石原 優，岩谷 みどり
同志社大学 （政策学部小谷ゼミ）	溝口 大地，澤田 樹，尾崎 普，野田 和生
佛教大学 （地球ラブズ）	高田 将成，天野 萌美，中川 奏子

（大学内のサポーターの並びは、応募の際に記載のあった順）

2 投稿数及び「いいね！」数（7大学合計）

投稿数 4 6 6 （2月末現在）

「いいね！」数 2 3， 5 1 8 （2月20日現在）

3 学生サポーターによる投稿の例

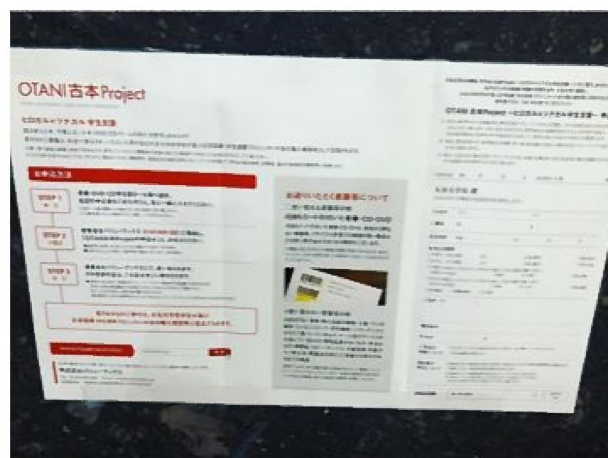
食品ロス削減を促す内容（京都橘大学）



10月は
京都市食品ロス削減月間ということで、
エコタチメンバーも
キャベツを使った
使い切りクッキングに参加してきました！
1個のキャベツも工夫したら
こんなにムダなく沢山食べれるんやね！

美味しくいただきました！🍴

紙ごみ削減を促す内容（大谷大学）



gomi_supporter6 大谷大学では、OTANI古本Projectという活動を行なってます。
内容は、読み終えた書籍等を大学に寄付し、新たな本を買うための資金にするものです。
本を燃えるゴミで処分するのはもったいない。ぜひ、皆さんもご協力お願いします！！